

ここをクリックすると「動画」サイトが開きます (YouTube)



今日は文章題の解き方を学ぶことにしよう。



来年じゃあ、もう卒業しているね。そこまできらいとはね…。そういう人は多いけど、どこがそんなに？



まあまあ、おちついて。今日はその文章題を解決するやり方を教えよう。



だましたっていいことなんかないよ。まずは説明するから聞いてみることだ。



苦手な人はだいたい、なんとなく読んでなんとなく数字を書いている。きみもそうじゃないかな？



じゃあ、次の文を読んでごらん。
**ハレタヒノアサニタロウサン
ガイエカライチバンチカイバ
ステイニッタータイミング
ヨクバスガキタ。**



ははは…ボクだってイヤになるね。でも、次のようにすると読みやすくなるよ。



文章題ですかあ。明日にしてください…来年でもいいんですけど。



読みにくくて、式にするのもいやで、もとにする量とか比べる量とかもう…ぎゃあーって感じ。



そんな都合のいい方法がほんとうにあるんですか？私をだまそうとしてませんか？



はい…（でも、きっとわからないんだろうな…いやになったらどうやってにげだそう）。



ほかにどうしようもないじゃないですか（私にどうしろっていうのかしら…にげようか）。



ああああ…何見せてるんですか。わけわかりません（ダメだ…もう家に帰ろう）。



はい…見ればいいんですね。読めなくともしからなくてくださいね。



晴れた日の朝に太郎さんが
家から一番近いバス停に
行ったらタイミングよくバ
スが来た。

ああ…わかりました。ゼン
ゼンちがいますね。漢字や
平仮名のおかげですか？



そのとおりだ。ひらがな・
カタカナ・漢字を組み合わ
せて、言葉が分かれて見え
るようになったよね。

はい（ふう…もう少し聞いて
みよう）。もしかして「、」
を書くともっとわかりやす
くなりませんか？



いいところに気がついたね。
「晴れた日の朝に、太郎さん
が、家から、一番近い…」
みたいに、ね。

ほんとうだ。じゃあ、そこ
ら中に点を書けばどんどん
読みやすくなるんじゃない
ですか？



そうだ。そこで、問題を読
むときに言葉を「線」で区
切るともっと読みやすくな
るんだ。

線…ですか？
「晴れた日の朝に／太郎さん
が家から一番近い…」みた
いに？



いいね。区切るポイントを
教えよう。「は・が・で・に・
へ・を」と句読点の後、だ。
おぼえてしまうといいよ。

はあ？ それ、何ですか？
またわからなくなりそうで
す（やっぱりにげたほうが
いいのかな）。



見てごらん。
晴れた日の朝に／太郎さん
が／家から一番近いバス停
に／行ったらタイミングよ
くバスが／来た。
こんな感じだよ。

そういうことですか。たし
かに見やすく、読みやす
くなったような気がします。



気がすることは大切だね。
次に、もっとわかりやす
くなる、かんたんなやり方を
教えよう。

（ふ～ん…これは役に立つか
も）はい、教えてください。
ほんとうにかんたんなん
ですよ？





かんたんだ。「音読」、声に出して読むことだ。国語の教科書と同じように、しっかり読むんだ。



かんたんだろ。線で区切って、その区切ったところに、少し「間」をあけるのがコツだ。どうぞ。



そうだろう。「なんとなく読む」では、文字がだらだら並ぶだけに見えていたのが、変わっただろう。



いいね。これが第一段階、文章題の問題文を正しく「読む」ことだ。では、ここまでをまとめよう。

算数で音読って、ちょっと変な気がします…はずかしいような。でも、たしかにかんたんですね。



晴れた日の朝に・太郎さんが・家から一番近いバス停に…わかりやすくなった気がします。



そうですね。大切な言葉がくつきりはつきり頭に入ってくるような気がします。



はい。まとめてください(ほっ…とりあえずにげなくてよさそうね…)



文章題解決 1 のまとめ

文章に線で切れ目を入れる
《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後
切れ目で間をおいて音読する

例) 太郎さんがいつも乗る、定員が 50 人のバスがあります。今日は定員の 200% が乗っていました。今日バスに乗っていた人は何人ですか。

▼▼線を書く▼▼

太郎さんが／いつも乗る、／定員が／50 人のバスが／あります。／今日は／定員の 200% が／乗っていました。／今日バスに／乗っていた人は／何人ですか。



「作図」ができれば、もう解けたようなものだ。



いらないよ。
線と、文字や数字を書きただけだ。名前をおぼえよう。《**線分図**》だ。線で分けるんだ。



たとえば、この線を真ん中で分けるにはどうすればいいかな。



うんうん、いいね。では、この線の左右の長さが「100人」なら、真ん中の線で何人に分けられる？



あ、いやいや…まだ続きがあるよ。では、同じ100人の線を、70人と30人に分けてみよう。



ビミョーだね。他人が見て「70人」ってわかりにくいね。だから、こうすればいい。線の位置があやしくてもこれでOKだ！



素晴らしい！それこそ《**線分図**》だ！問題を読んだらその言葉を利用して、線分図を作るんだ。

でも私、絵がものすごく下手なんです…。定規やコンパスがいらいますか？



ううっ…名前からして難しそうですね。



《**線分図**》ですね。はい、おぼえました。《**線分図**》。

それならできますよ。ほら、こうやって真ん中に線を引けば！



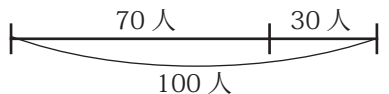
半分だから50人ずつですね。これで文章題が解けちゃらうですか！私ってすごい！



ビミョーですね…。でも、まあいいや…えいつ、こんな感じですか？



少しずるいなあ…じゃあ、こうすればもっとわかりやすくなりますか？



かけそうな気がしてきました。じゃ、問題を読んで、かかせてください。





太郎さんは定員が 50 人のバスに乗りました。今日は定員の 200% が乗っていました。何人乗っていましたか。



じゃあ音読だね。次に、何を答えるのか確認する。で、そのために使える「数」をチェックしよう。



ではコツを教えよう。「~の〇〇」に注目だ。



「なにか・の・割合」って書いてあるところだよ。



いいね。「定員の 200%」とあるが、これは定員より大きいのか小さいのか？それはどれくらいなの？



あたり！では、この関係を線分図にしよう。2 倍を…逆にするとどう？



OK だ。これでいい。定員が何人か書いておけば、答えが出せるんじゃないかな。



正解！基本はこれだけだ。実際の問題はもう少し難しいが、慣れればできる。



うわっ。まず線で区切りますね。「は・が・で・に・へ・を」の後でしたよね。太郎さんは / 定員が / 50 人のバスに / 乗りました。 / 今日は / 定員の 200% が / 乗っていました。 / 何人乗っていましたか。



(音読する) …答えるのは「何人乗っていたか」ですね。わかっているのは 50 人と 200% です。



なんですか、その呪文^{じゅもん}みたいな「~の〇〇」って。



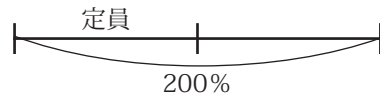
「定員の 200%」ってあるところですか？



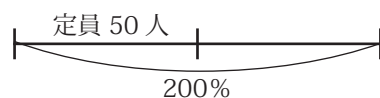
大きいですね。100% が定員なんですよ。…定員の 2 倍ですか？



半分です。じゃあ、こんな感じですか？



え〜と、こんな図ですね。



じゃあ、定員 50 人の 2 倍は 100 人。できた！

やった！終わりですね！



いや…続きがある。「もとにする量」と「比べる量」だ。



まあまあ。「もとにする量」は、変わらないものと思えばいい。この場合、定員と乗った人数でずっと変わらないのはどっち？



むむっ…そのことはおいて (汗)。「もとにする量」は 50 人、「比べる量」は 200%ということだ。



いいね。ただし、これからは%のかわりに、1と小数を使うことにする。



後でわかるけど、%は計算しにくいんだ。だから100%を1で、1%は0.01とする。200%は？

マンガみたいに決まったね！

げっ…。まだそんなのがあるんですか (うっ)。



変わらない…定員ですね。乗った人数は変わりますね。…でもそんなに乗せていいんですか？



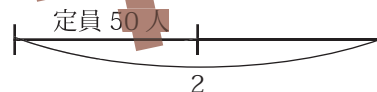
はあい (ごまかされた…)。半分しか乗っていなければ「比べる量」は50%でいいんですか？



えっ、なんで急に？%でいいじゃないですか？



(またあ…ズルウ) ええと、200%は100%の倍だからあ…。2、ですね。じゃあ、線分図はこうですか？



マンガです……



文章題解決 2のまとめ

線+目印で線を分ける

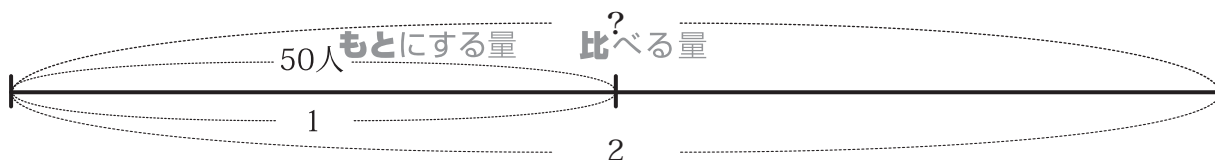
ポイントはもとにする量と比べる量の大小

割合 (%) は1と小数に変えて書く

例) 太郎さんが / いつも乗る、 / 定員が / 50 人のバスが / あります。 / 今日は / 定員の 200% が / 乗っていました。 / 今日バスに / 乗っていた人は / 何人ですか。

▶もとにする量▶定員 ここでは 50 人で **1**

▶比べる量▶乗った人数 ここでは「？」で **2**





最後のしあげに、立式と計算だ！



ははは。でも、せっかく答えが出せる一歩手前まで来たんだ。このままじゃもったいないだろう。

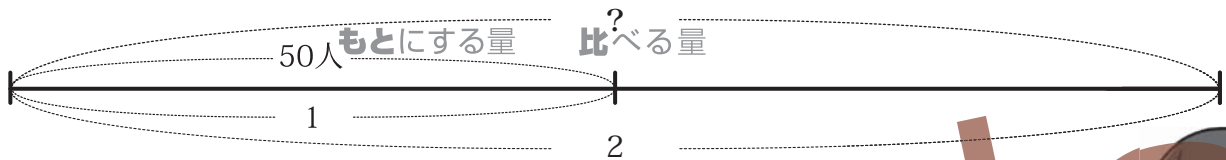


さっきの線分図をもう一度見よう。何を求めるんだったかな？

まだ続くんですか？ この続きは来年でいいじゃないですか。



ううっ…たしかにそうですね。わかりました（こうやってずるずると続いていくような気がする…）。



いいね。では、線分図で考えよう。わかっている人数は50人。どうすれば「？」がわかるかな？



そうだ。これで答えが出せるね。



正解！よくできたね。ここまでの解き方をまとめるとどうなるか。「もとにする量」かける「割合」で、「比べる量」になるんだ。



いい疑問だね。たしかにこの問題ならなんとなく解ける。でも、もっと複雑な問題では、線分図を作って「もとにする量」と「比べる量」を整理することが重要になる。

何人乗っていたか…だから、線分図の「？」ですね！



50人が1で、「？」は2だから…50人を2倍するってことですか？



100人ですね。これは自信ありますよ。



わかりました。でも、気になることが。この答えは、問題を読んでてほしいわかってましたし、難しい言葉や線分図、いらないんじゃないですか？



そうですか…。





言い変えると、線分図で、どれとどれが「もとにする量」と「比べる量」かはっきりさせ、正しく計算すれば、確実に答えが出る。



ただし、最後にもう一つ注意してほしいことがあるんだ。



ああ、最後だ。さっきの問題のように、計算の結果が、そのまま求めたい数値になるとは限らない。たとえば「空席の数」や「おつり」などを、計算を続けて求めなければならない問題もある。「何を求めるか」問題文をしっかりと読んで、つかんでおくことだ。



ポイント1の「読解」にあつたように、問題文を正確に読むことがとても大切だ。

今日のところはね……



確かに…ですか。それはすごいですね。ちゃんとおぼえるようにします。



「最後に」ですか？ ほんとうに最後ですね。



たしかに。そんなミスをしたことがあります。気をつけます。



わかりました。ほんとうにこれで終わりですね。

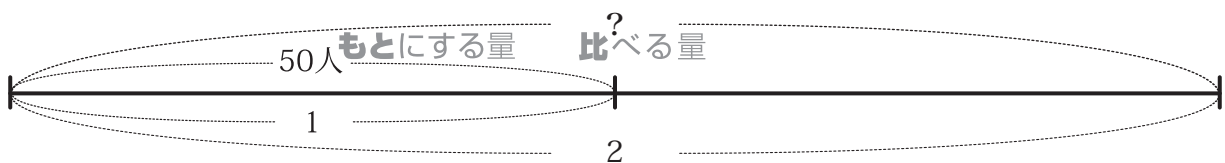


文章題解決 3のまとめ

もとにする量 × 割合 = 比べる量

最後に**求めたい数量**が何か**確認**して、**答え**を書く

下の線分図では「もとにする量」が50人で1、「比べる量」は「？」で2。
 $50 \times 2 = 100$ 正解は「100人」(…ただし、こんなに乗せてはいけません)。



例) もし「このときのバスは、定員オーバーしていた。何人オーバーだったのか」という質問だったなら、さらに $100 - 50 = 50$ という計算を行う。

第1部 割合 例題 解決方法を確かめよう

文章題解決のポイントまとめ・再確認

1 読解 線で区切る＋音読

《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後に区切る

2 作図 重要語句と数値で線分図作成

「もとにする量」と「比べる量」をチェック

3 計算 正しく計算＋チェック

もとにする量×割合＝比べる量

例題 太郎さんがいつも乗る、定員が50人のバスがあります。今日は定員の120%が乗っていました。今日バスに乗っていたのは何人ですか。



まず、線と音読だね。やってみよう。

はい。じゃあ書きます。これでいいですか？



太郎さんが／いつも乗る、／定員が／50人のバスが／あります。／今日は／定員の120%が／乗っていました。／今日バスに／乗っていた人は／何人ですか。



いいね。次に音読…OK、ちゃんと区切りも入ってるね！じゃあ使う語句を決めよう。

「もとにする量」は変わらない数で「比べる量」は変わるから…「定員が50人」と「定員の120%」で、「定員が50人＝もとにする量」、「定員の120%＝比べる量」です！



よ～し。じゃあ、図の準備に進もう。



おっと、ここで念のためおさらいだ。少し長いけどしっかり読んでね。

(…少しじゃなく長い…)
がんばって読みます。



ツール 解答のために使う言葉や数値をぬき出して整理しよう

□定員が 50 人 □今日は定員の 120%が乗っていました

この二つを、もとにする量、比べる量（比べられる量ともいう）、割合のどれに当てはまるか考えます。もとにする量とは、「基準となる量」ともいえます。文章題で「～の 50%」などと書かれている場合の「～の〇〇」に注目します。「〇〇」部分に割合が書いてあります。この場合、「の」とその前の「～」が重要です。「～」部分で、値が変わらないものを、「もとにする量」とします。

もとにする量…定員…50 人

比べる量とは、もとにする量と比かくした量です。もとにする量である「定員」と比かくされている、「バスに乗っていた人」が、比べる量です。バスに乗っていた人数は書かれていないので、 x 人としておきます。

比べる量…バスに乗っていた人… x 人

割合は、比べる量がもとにする量の何倍になるかを表したものです。割合は、整数・小数・分数で表す場合と、百分率で表す場合、歩合で表す場合があります。今回は、百分率で、「120%」です。120%は、小数では 1.2 となります。

もとにする量は基準の量なので、割合は「1」です。ツールとして使うのは、次のようになります。

もとにする量	<u>バスの定員・50 人</u>	割合 1
比べる量	<u>バスに乗っていた人数・x 人</u>	割合 1.2

線分図の上側には数値を、下側には割合を記入します。まず線を引いて、その間の大まかな位置に目印を書きます（位置はだいたい構いません）。次に、左端から目印までを線で結びます。ここにはもとにする量と比べる量の大小関係を考えて、小さい方を記入します。この問題では、もとにする量の割合 1 に対して比べる量の割合が 1.2 なので、小さい方である「もとにする量」を記入します。

もとにする量は 50 人なので、上に「50 人」、割合が 1 なので、下に「1」と書きます。

左端から右端までを線で結びます。線の全体が、大きい方…比べる量です。比べる量は x 人としているので、上は「 x 人」、割合が 1.2 なので、下に「1.2」と書きます。

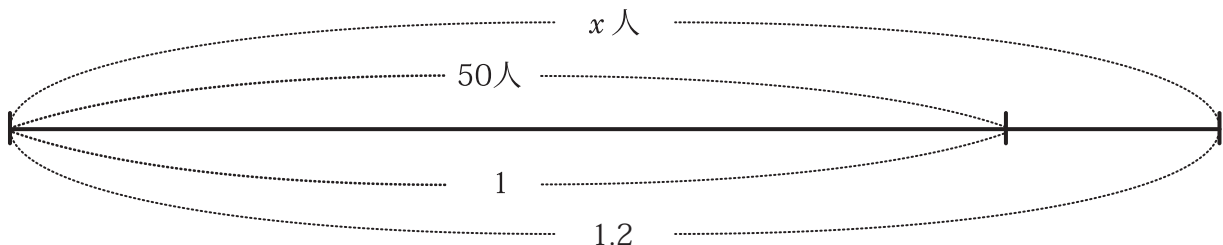


ふう〜っ。
どうにか終わったね。

じゃあ、線分図をどうぞ。

はい…泣けそうですが、読みました。

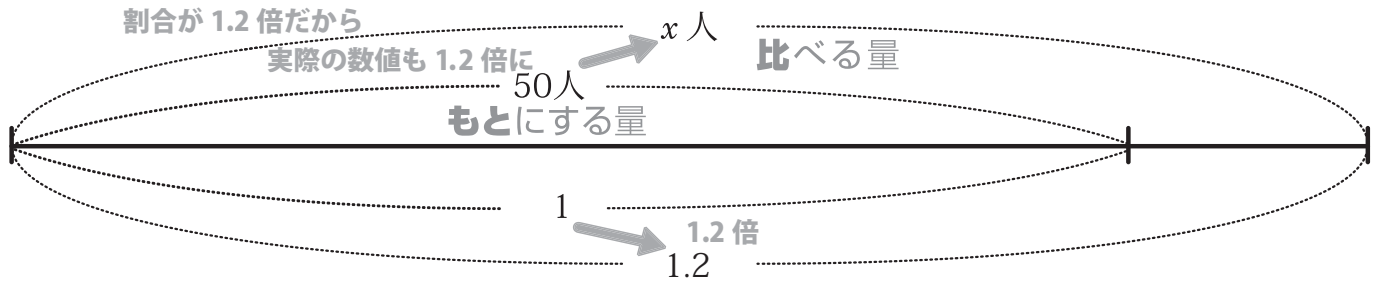
はい…。かきました。





カンペキだ。では、わかりやすくするためのヒントを加えよう。

はあい（…最初からそうしてください）。



ここにグレーで書いてあることを考えながら線分図をかくといいんだ。

なるほど。図にするとわかりやすいですね。



いいことに気がついたね。線分「図」も、わかりやすくするためにあるんだ。

わかりました。ありがとうございました。



おいおい、まだ終わっていないよ。計算して答えを求めなさい。

ああっ、そうでした。今度は私が説明します。



💡 解説 解答

比べる量の割合 1.2 は、もとにする量の割合 1 の 1.2 倍です。比べる量 x は $50 \times 1.2 = 60$ だから、 $x = 60$ です。

問題文を読み直して、「何を求めたいか」をチェックすると…「バスに乗っていた人数」です。今求めた 60 は「バスに乗っていた人数」だから、そのまま答えにします。60 人です。

▶ 解答 60 人



よろしい。申し分ない。

でしょう！ えへんっ！



じゃ、この調子でどんどん解こう！

何言ってるんですかああ！



割合 練習問題

問題 1-A 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が 50 人のバスがあります。今日は定員の 160% が乗っていました。今日バスに乗っていた人は何人ですか。▶ポイント《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後で区切る▶区切ったら音読！



ツール

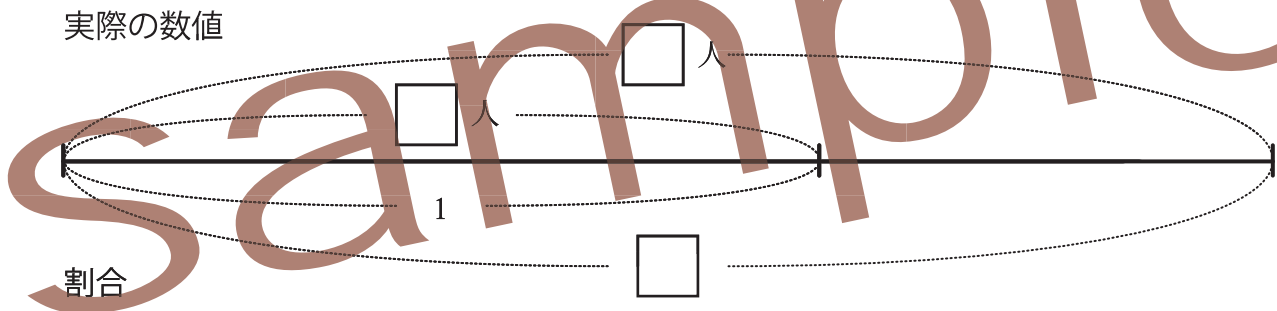
解答のために使う言葉や数値をぬき出して整理しよう



もとにする量 _____

比べる量 _____

線分図作図



計算 解答

▶解答 _____

問題 1-A 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が 50 人のバスがあります。今日は定員の 160% が乗っていました。今日バスに乗っていた人は何人ですか。

▶ポイント《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後で区切る▶区切ったら音読!

ヒント

問題文を分解して、数値が書いてある部分をぬき出します。

□定員が 50 人 □今日は定員の 160% が乗っていました

この二つを、もとにする量、比べる量（比べられる量ともいう）、割合のどれに当てはまるか考えます。

もとにする量とは、「基準となる量」ともいえます。文章題で「～の 50%」などと書かれている場合の「～の○○」に注目します。「○○」部分に割合が書いてあります。この場合、「の」とその前の「～」が重要です。「～」部分を、「もとにする量」とします。

もとにする量…定員…50 人

この問題では、「定員の 160%」が乗っていたので、「定員」を基準とします。つまり、「定員」がもとにする量です。定員は 50 人です。

比べる量とは、もとにする量と比かくした量です。この問題では、もとにする量である「定員」と比かくしている、「バスに乗っていた人」が、比べる量です。バスに乗っていた人の数値は書かれていないので、 x 人としておきます。

比べる量…バスに乗っていた人… x 人

割合は、比べる量かもとにする量の何倍かを表したものです。割合は、整数・小数・分数で表す場合と、百分率で表す場合、歩合で表す場合があります。今回は、百分率で、「160%」。160% は、小数では 1.6 です。問題に書いてある割合は、比べる量とセットで使います。もとにする量は基準の量なので、割合は「1」です。ツールには、下のように当てはめます。

もとにする量	バスの定員・50 人	割合	1
比べる量	バスに乗っていた人数・ x 人	割合	1.6

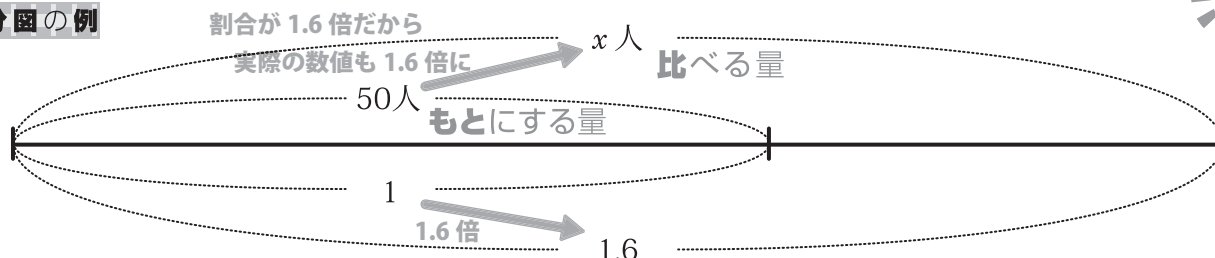
これを、線分図に表します。線分図の上側には数値を、下側には割合を記入します。

まず線を引いて、その間の大まかな位置に目印を書きます（位置はだいたいで構いません）。次に、左端から目印までを線で結びます。ここにはもとにする量と比べる量の大小関係を考えて、小さい方を記入します。この問題では、もとにする量の割合 1 に対して比べる量の割合が 1.6 なので、小さい方であるもとにする量を記入します。

もとにする量は 50 人なので、上に「50 人」、割合が 1 なので、下に「1」と書きます。

左端から右端までを線で結びます。線の全体が、大きい方…比べる量です。比べる量は x 人としているので、上は「 x 人」、割合が 1.6 なので、下に「1.6」と書きます。

線分図の例



解説 解答

比べる量の割合 1.6 は、もとにする量の割合 1 の 1.6 倍です。比べる量 x は $50 \times 1.6 = 80$ よって、 $x = 80$ です。

最後に、問題文を読み直して、「何を求めたいか」をチェックします。今回は、「バスに乗っていた人数」です。今求めた 80 は「バスに乗っていた人」の数なので、そのまま答えとなります。よって、答えは 80 人です。

▶解答 80 人

割合 練習問題

問題 1-B 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が 40 人のバスに、今日は定員の 150% が乗車していました。乗車していた人は何人ですか。

▶ポイント《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後で区切る▶区切ったら音読!



ツール

解答のために使う言葉や数値をぬき出して整理しよう



もとにする量 _____

比べる量 _____

線分図作図

実際の数値

割合

1

□人

□人

□



計算 解答

▶解答 _____

割合 解説と解答

問題 1-B 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が40人のバスに、今日は定員の150%が乗車していました。乗車していた人は何人ですか。 ▶《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後で区切る▶区切ったら音読!

ヒント

問題文を分解して、数値が書いてある部分をぬき出します。

□定員が40人 □今日は定員の150%が乗車していました

この二つを、もとにする量、比べる量、割合のどれに当てはまるか考えます。

もとにする量は、「基準となる量」ともいえます。文章題で「～の150%」などと書かれている場合の「～の〇〇」に注目します。「〇〇」部分に割合が書いてあります。この場合、「の」とその前の「～」が重要です。「～」部分を、「もとにする量」とします。

この問題では、「定員の150%」が乗車していたので、「定員」がもとにする量です。定員は40人です。

もとにする量…定員…40人

比べる量は、もとにする量と比かした量です。もとにする量である定員と比かしている、「バスに乗車していた人」が比べる量です。バスに乗車していた人の数値は書かれていないので、 x 人としておきます。

比べる量…バスに乗車していた人… x 人

割合は、比べる量かもとにする量の何倍になるかを表したものです。今回は、百分率で、「150%」です。150%は、小数では1.5です。

問題に書いてある割合は、比べる量とセットで使います。もとにする量は基準の量なので、割合は「1」です。

ツールには、下のように当てはめます。

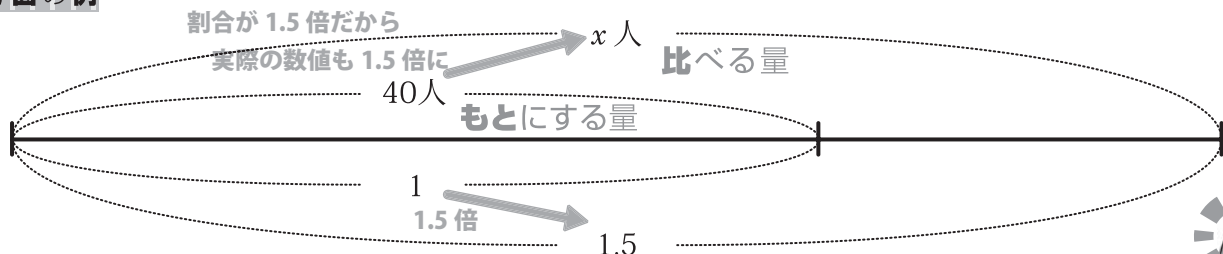
もとにする量	バスの定員・40人	割合	1
比べる量	バスに乗車していた人数・ x 人	割合	1.5

これを、線分図に表します。線分図の上側には数値を、下側には割合を記入します。

まず線を引いて、その間の大まかな位置に目印を書きます（位置はだいたい構いません）。次に、左端から目印までを線で結びます。ここにはもとにする量と比べる量の大小関係を考えて、小さい方を記入します。この問題では、もとにする量の割合1に対して比べる量の割合が1.5なので、小さい方であるもとにする量を記入します。もとにする量は40人なので、上に「40人」、割合が1なので、下に「1」と書きます。

左端から右端までを線で結びます。線の全体が、大きい方…比べる量です。比べる量は x 人としているので、上は「 x 人」、割合が1.5なので、下に「1.5」と書きます。

線分図の例



解説 解答

比べる量の割合1.5は、もとにする量の割合1の1.5倍です。比べる量 x は $40 \times 1.5 = 60$ よって、 $x = 60$ です。

最後に、問題文を読み直して、「何を求めたいか」をチェックします。今回は、「バスに乗車していた人数」です。今求めた60は「バスに乗車していた人」の数なので、そのまま答えとなります。よって、答えは60人です。

▶解答 60人

割合 練習問題

問題 1-C 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が 45 人のバスに、今日は定員の 120% が乗車していました。定員より何人多く乗っていましたか。

▶ポイント：区切ったら音読！



ツール

解答のために使う言葉や数値をぬき出して整理しよう

もとにする量 _____

比べる量 _____

求める量 _____

線分図作図

実際の数値

割合



計算 解答

▶解答 _____

問題 1-C 【比べる量を求める】

太郎さんがいつも乗る、定員が45人のバスに、今日は定員の120%が乗車していました。定員より何人多く乗っていましたか。

▶ 《は・が・で・に・へ・を》と句読点の後に区切る

ヒント

問題文を分解して、数値が書いてある部分をぬき出します。

□定員が45人 □定員の120%が乗車していました

この2つを、もとにする量、比べる量、割合のどれに当てはまるか考えます。

もとにする量を考えます。この問題では、「定員の120%」が乗車していたので、「定員」がもとにする量です。定員は45人です。 **もとにする量…定員…45人**

比べる量を考えます。もとにする量である定員と比かしている、「バスに乗車していた人」が比べる量です。バスに乗車していた人の数値は書かれていないので、 x 人としておきます。

比べる量…バスに乗車していた人… x 人

割合は今回、百分率で、「120%」です。120%は、小数で表すと1.2です。

問題に書いてある割合は、比べる量とセットで使います。もとにする量は基準の量なので、割合は「1」です。

ツールには、下のように当てはめます。

もとにする量	バスの定員・45人	割合 1
比べる量	今日バスに乗車していた人数・ x 人	割合 1.2
求める量	定員より何人多く乗っていたか	

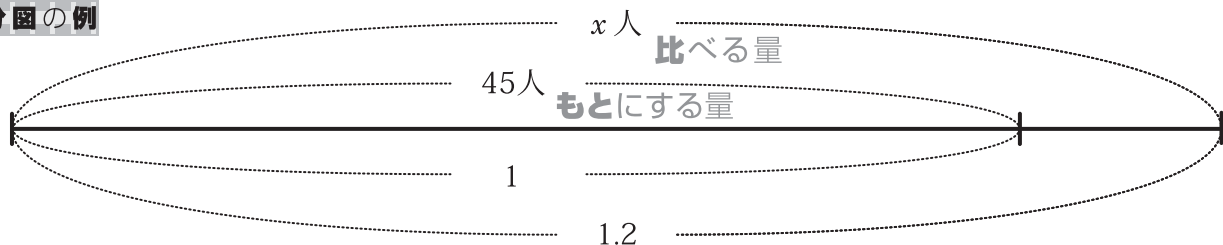
これを、線分図に表します。線分図の上側には数値を、下側には割合を記入します。

まず線を引いて、その間の大まかな位置に目印を書きます（位置はだいたい構いません）。次に、左端から目印までを線で結びます。ここにはもとにする量と比べる量の大小関係を考えて、小さい方を記入します。

この問題では、もとにする量の割合1に対して比べる量の割合が1.2なので、小さい方であるもとにする量を記入します。もとにする量は45人なので、上に「45人」、割合が1なので、下に「1」と書きます。

左端から右端までを線で結びます。比べる量は x 人としているので、上は「 x 人」、割合が1.2なので、下に「1.2」と書きます。

線分図の例



解説 解答

比べる量の割合1.2は、もとにする量の割合1の1.2倍です。比べる量 x は $45 \times 1.2 = 54$ によって、 $x = 54$ です。

最後に、問題文を読み直して、「何を求めたいか」をチェックします。今回は、「定員より何人多く乗っていたか」です。求めた54は「バスに乗車していた人数」なので、まだ答えではありません。

定員45人に対して、乗車していたのは54人なので、 $54 - 45 = 9$ によって、答えは9人です。

▶解答 9人